

住民との協働によるまちづくり ～まちづくりコーディネーターの役割と技術の習得～

地域の多様なニーズや課題に対応するためには、行政と住民が協働してまちづくりを推進していくことが重要です。この研修では、協働の意義や課題を学ぶとともに、まちづくりを行うためのスキルを実践的に学び、コーディネーターとしての知識や技術の習得を目指します。

研修の ポイント

- 協働の意義や課題を学ぶとともに、行政の役割や住民との関わり方を考えます。
- 「まちづくりコーディネーター」の役割を学び、コーディネーターに求められる様々なスキルの習得を目指します。

開催要領

日 程

令和6年9月30日(月)～10月4日(金) (5日間)

場 所

全国市町村国際文化研修所

JR京都駅より湖西線約15分 唐崎駅下車徒歩約3分

対 象

住民との協働によるまちづくりなどに携わる市区町村等の職員

5日間全日程をご受講いただける方を対象とします。途中退所や一時帰庁はできませんのでご注意ください。

募集人数

50人

※募集人数を大幅に超えた場合は、申込期限後に抽選等をさせていただきますので、予めご了承ください。なお、受講者の決定については、他の研修、セミナーの申込み・受講の有無にかかわらず、本研修単独で行います。

※行政と協働実績のあるNPO職員の方も参加可能ですが、本研修は市区町村職員を対象とした研修のため、実務的な内容となっておりますのでご注意ください(各自治体の現状や施策を基に、グループで討議をしていただく時間もあります)。また、申込人数によっては受講をお断りすることがありますので、予めご了承ください。

宿 泊

研修所宿泊棟(宿泊型研修)

※外泊はできません。

経 費

17,650円

左記金額は、研修、宿泊、食事(朝食4回、昼食3回、夕食4回)、資料等にかかる費用です。なお、事前準備・事前学習にかかる費用は含まれておりません。

申込期限

令和6年8月9日(金)まで

申込方法

JIAMホームページ内「研修Web申込みフォーム」からお申込みください。

受講決定

受講の可否については、開講日の約1か月前を目途に通知をお送りします。

経費納入方法等の手続きについては、受講決定通知書によりお知らせします。

事前課題

研修受講にあたって、事前課題に取り組んでいただく予定です。詳細は受講決定通知書送付時にお知らせします。

令和6年

9月
30日(月)

12:45~

入寮受付

13:45~

開講・入寮オリエンテーション

14:25~16:45

講義 米国ポートランド・シアトルに学ぶ住民協働のまちづくり

京都府立大学公共政策学部 教授 川勝 健志 氏

「全米で最も住みたい街ランキング」や「住民協働のまちづくり」として知られるポートランドやシアトルの事例についてご紹介いただきます。

17:00~17:30

演習 意見交換

事前課題の内容を中心に、それぞれの自治体で抱えている住民協働に関わる課題や悩みを共有します。

18:00~

交流会 夕食を兼ねて、ともに学ぶ受講者同士の親睦(情報交換・交流)を深めます。

令和6年

10月
1日(火)

9:25~17:00

**講義・演習 住民協働の意味と行政の役割
~人口減少時代の地域づくりから考える~**

高崎経済大学地域政策学部 教授 櫻井 常矢 氏

人材育成を軸としたコミュニティ再生や住民協働システム構築に実践的にアプローチするなど、自治体政策の各種アドバイザー等を務めてこられた講師から、行政運営のあらゆる分野で求められている“協働”の意味と、行政の果たすべき役割についてご指導いただきます。

9:25~14:10

講義・演習 ファシリテーターの役割・基本

九州大学大学院統合新領域学府 客員教授 加留部 貴行 氏

協働のまちづくりを進める上で、参加者の主体的な活動を促進し、ゴールに向けたプロセスを陰で支えるファシリテーターの役割はとて重要で重要。意見をわかりやすくまとめて伝えたりスムーズな理解を促すファシリテーターの役割や必要なスキルを、豊富な経験をもとにご指導いただきます。

14:25~17:00

講義・演習 ファシリテーショングラフィック

名古屋学院大学現代社会学部 准教授 三矢 勝司 氏

法政大学大学院公共政策研究科 教授 杉崎 和久 氏

ファシリテーショングラフィックは、図や絵、文字などを使用し話し合いの流れや内容を可視化することで、場の活性化や相互理解を促す効果を持っています。各地で地域住民を巻き込んだまち育てに携わられた経験から、演習を交えてその手法やポイントをご指導いただきます。

令和6年

10月
2日(水)

9:25~10:35

講義 まちづくりコーディネーターの役割・基本 その1

公益財団法人京都市景観・まちづくりセンター 専務理事 北川 洋一 氏

まちづくりをコーディネートするために必要な「そもそも」の基礎知識から、とりわけ行政職員が取り組む場合に心がけるべきポイントまで、「まちづくり」に長年携わられた豊富な経験談を交えつつ、ご指導いただきます。

10:50~12:00

事例紹介 住民と企業を結ぶまちづくり

熊本県熊本市東区役所総務企画課 課長 石井 大輔 氏

※コーディネーター

公益財団法人京都市景観・まちづくりセンター 専務理事 北川 洋一 氏

熊本市東区で独自に実施している、地域団体等と企業(企業市民)をマッチングさせ地域の課題解決だけでなく地域の活性化を目指す「地域力パワーアップ大作戦」についてお話いただきます。

13:00~14:10

講義 まちづくりコーディネーターの役割・基本 その2

公益財団法人京都市景観・まちづくりセンター 専務理事 北川 洋一 氏

14:25~17:00

講義・演習 協働を生み出すワークショップ体験

公益財団法人京都市景観・まちづくりセンター 専務理事 北川 洋一 氏

多様な立場、背景、利害の人たち同士の対話から、課題解決に向けた協働のアクションを生み出すワークショップを、受講者自身が抱える課題に基づいて体験します。初日は課題解決の方向性を見つけたところまでを達成目標とします。

令和6年

10月
3日(木)

9:25~12:00

発表・講評 協働を生み出すワークショップ体験

公益財団法人京都市景観・まちづくりセンター 専務理事 北川 洋一 氏

前日のワークの成果を深め、具体的な課題解決のアクションを検討します。最後に受講者ひとりひとりが「収穫」できたものを確認・共有し、講師から講評いただきます。

12:00~12:30

ふりかえり、研修アンケート記入、閉講

令和6年

10月
4日(金)